

# 未払賃金立替払事業（令和2年度）の実施状況について

このたび、令和2年度における未払賃金立替払事業の実施状況を取りまとめました。その概要は、以下のとおりです。

※ 未払賃金立替払事業とは、企業倒産に伴い、賃金が支払われないまま退職を余儀なくされた労働者に対して、未払となっている賃金の一部を国が事業主に代わり立て替えて支払うもので、独立行政法人労働者健康安全機構が支払等の業務を行っています[参考1]。

## 概 要

### 【1】令和2年度の立替払状況（ ）内は、対前年度比。

令和2年度の立替払状況は、

- ・企業数は、1,791件(10.0%減)
- ・支給者数は、23,684人(1.3%減)
- ・立替払額は、84億11百万円(2.6%減)

と、企業数、支給者数及び立替払額は減少[表1]。

支給者一人当たりの平均立替払額は、35.5万円[表1]。

### 【2】半期ごとの立替払状況（ ）内は、対上半期比。

令和2年度の半期ごとの立替払状況は、

- ・企業数は、上半期1,147件・下半期644件(43.9%減)
- ・支給者数は、上半期15,632件・下半期8,052人(48.5%減)
- ・立替払額は、上半期52億77百万円・下半期31億34百万円(40.6%減)

となりました[表2]。

### 【3】企業規模別の立替払状況

令和2年度の企業規模別の立替払状況は、

- ・企業数は、労働者数30人未満の企業が最も多く、全体の88.4%
- ・支給者数は、労働者数30人未満の企業に対する合計が最も多く、全体の43.3%
- ・立替払額は、労働者数30人未満の企業に対する合計が最も多く、全体の51.1%となりました。なお、立替払額は、労働者数30人未満の企業と30人～299人の企業をあわせると、全体の91.2%に上りました(令和元年度は94.7%) [表3]。

### 【4】業種別の立替払状況

令和2年度の業種別の立替払状況は、

- ・企業数は、商業が全体の21.3%と最も多く、次いで接客娯楽業、製造業の順
- ・支給者数は、接客娯楽業が全体の24.9%と最も多く、次いで商業、製造業の順
- ・立替払額は、製造業が全体の21.9%と最も多く、次いで商業、接客娯楽業の順となりました[表4]。

### 【5】立替払状況の推移

企業数、支給者数及び立替払額は減少[図1、表5]。